

# 競技注意事項

## 1 コロナウイルス感染拡大防止対策

### 1. 入場について

#### 共通項目

- ① 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問（2名）、競技役員、選手、マネージャー（高校生2名まで）、補助員のみとする。
- ② 競技場へ入場する者は競技に出場する1週間前から体調チェックシートを記入すること。
- ③ 学校代表者（顧問）は学校受付時に競技に出場する全ての人の体調を報告する。
- ④ 大会後の2週間は「大会後・自己管理用 体調管理表」（高体連 HP 参照）を記録すること。

#### 出場選手

- ① 招集完了時に「入場管理シート」に招集完了印を押してもらう。
- ② 招集完了後に「入場管理シート」を南ゲートにて掲示することにより競技場への入場を認める。  
準決勝・決勝は、アスリートビブス（ナンバーカード）を南ゲートにて提示することで入場できる。
- ③ 入場後に自分の荷物をまとめて置いておくためのビニル袋（40 ㎝サイズ以上）を各自で1枚を用意する。（荷物置き場にテントは設置しません）
- ④ 競技が終了したら、スタンドには寄らず、すみやかに南ゲートから競技場を出る。
- ⑤ 記録の掲示は決勝・準決勝進出者以外は発表しない。決勝・準決勝進出者は QR コードより WEB 速報を見て確認するか、正面出入口付近でも確認できる。
- ⑥ 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、感染症の予防に努めること。

#### 競技役員・学校顧問・マネージャー・補助員

- ① 学校顧問・マネージャー・補助員は正面出入口にて「入場管理シート」確認後に入場 ID を配布する（競技役員は審判員証、補助員は腕章でよい）ので競技場の入退場に使用する。
- ② 学校顧問、マネージャーはメインスタンドのみ立ち入りを認める。（選手不可）
- ③ メインスタンドに入場する場合は、南側2階入口を利用すること。
- ④ 競技役員・補助員の休憩所として相撲場を利用してもよい。（飲食可）

### 2. 待機場所について

- ① 選手はレクリエーション広場の学校ごとに割り当てられたエリア（高体連 HP 参照）のみ利用することができる。
- ② 選手の待機場所としての利用のみとし、それ以外の用途として留まらないこと。
- ③ レクリエーション広場以外に待機場所を絶対に設けないこと。

### 3. 招集所について

招集場所は正面出入口付近とし、招集完了後、南ゲートより入場する。

### 4. 更衣について

北陸1階の更衣室を使用すること。

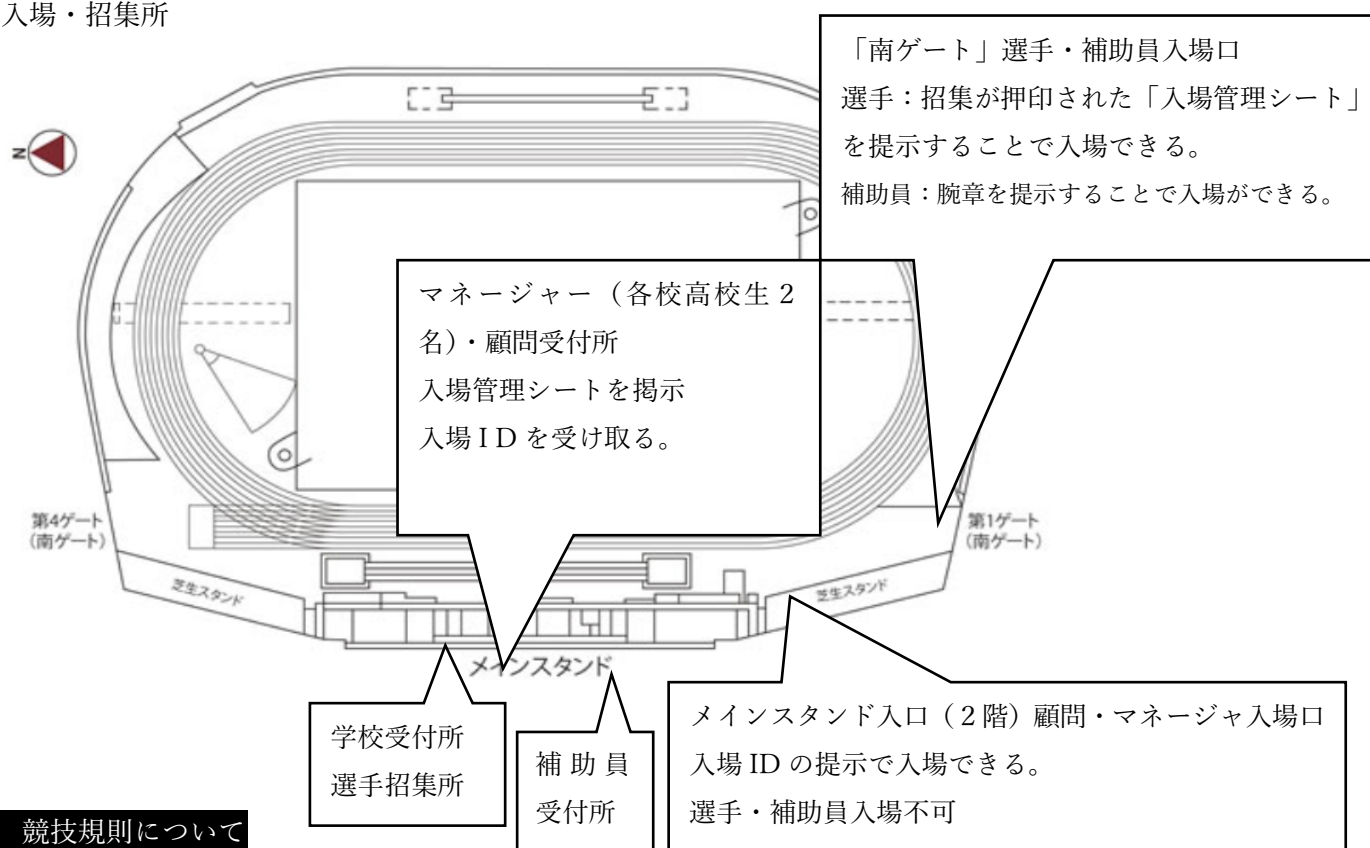
### 5. その他

① 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。

競技場周辺の公園での練習等は絶対に行わない。(バックスタンド裏、野球場周辺、山崎川沿など)

② 閉会式は行わない。

### 6. 入場・招集所



## 1 競技規則について

### 1. 競技運営について

① 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。

② 本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。

### 2. ウォーミングアップについて

この範囲のなかであれば下記の通りにウォーミングアップを実施してよい。

#### ① 北競技場

- 各日9時まで練習可能とする。
- 9時までに9時30分開始のフィールド種目以外の競技者は速やかに一度競技場から退場すること。

② レクリエーション広場

- 使用可能時刻は、最終種目招集開始時刻までとする。
- 跳躍練習、投擲練習は実施できない。
- 他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。
- 当日行われる種目の選手のみの使用を認める。

3. 招集について

- ① 招集所は、北競技場の正面出入口付近に設ける。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなして処理する。
- ③ 各種目の招集完了時刻・完了時刻は以下の通りである。
- ④ リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の 60 分前にまでに招集所に提出すること。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技（棒高跳を除く）	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳び	競技開始 70 分前	競技開始 50 分前

※ハードル種目のみハードル練習のために南地区の招集時間を北地区に合わせる。

4. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。（競技規則 143 条 7・8 を厳守）
- ② 跳躍競技については、胸と背のいずれか一方のみでもよい。
- ③ トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。右腰のやや後部につけ、競技終了後に係まで返却すること。

5. 表彰・各種目の得点について

- ① 各種目 6 位までを入賞者とし、賞状を授与する。
- ② 各種目の得点は、1 位 6 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点とする。
- ③ 男女それぞれ総合 6 位まで、トラックの部・フィールドの部 3 位までの学校に賞状を授与する。

6. 県大会出場者(チーム)について

- ① 県大会出場者は、各種目上位 6 名とする。
- ② シード選手(チーム)は、今大会の結果にかかわらず県大会に出場することができる。
- ③ シード選手(チーム)が 6 位以内に入賞した場合、7 位以降の選手を繰り上げ、シード選手(チーム)以外の 6 名(チーム)が県大会に進出する。
- ④ シード選手(チーム)が多く、決勝ラウンド以前の段階で出場チームを決定する場合は、決勝ラウンド 1 つ前のラウンドの記録により県大会進出者(チーム)を決定する。
- ⑤ 以下の種目については、県大会進出には、6 位入賞に加え標準記録に達することが必要である。

種 目	標 準 記 録	確認事項
男子 5000m競歩	28分00秒00	標準記録に達しなかった者は、競技終了後、3回の試技を行うことができる。
女子 5000m競歩	33分00秒00	
男子 ハンマー投げ	35m00	
女子 ハンマー投げ	25m00	

- ⑥ 県大会出場者(チーム)は、学校ごとで最終日終了までに出場手続きを県大会申込所で行うこと。
- ⑦ 参加校において新型コロナウイルス感染症の陽性者及び濃厚接触者が判明し出場辞退した場合は、上位大会の参加はできない。

## 2 競技に関して

### 1. 競技器具・競技用靴について

- ① 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- ② 棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。
- ③
- ④ スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
- ⑤ WA 規則第143条 (TR5:シューズ) のルールを適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- ⑥ 本大会は、フィールド競技用シューズのTR5.5を適用せず実施する。

### 2. トラック種目及びフィールド種目の実施方法について

#### トラック競技

- ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ② 男子5000mは22分、女子3000mは15分で競技を打ち切る。
- ③ 男子5000m競歩は30分、女子5000m競歩は35分で競技を打ち切る。
- ④ ハードル種目については予選の競技開始前の10分間、決勝は5分間の練習の時間を設ける。

#### フィールド競技

- ① 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
- ② 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を助走路内に用意することができる。
- ③ 三段跳の踏切版は、砂場から男子10m、女子8mの地点に設置する。
- ④ 走高跳・棒高跳について  
走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降	
走高跳	男子	1m50 ～	1m50	… 5cm ずつ上げる					1m85	3cm ずつ
	女子	1m20 ～	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	3cm ずつ
棒高跳	男子		2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m70	10cm ずつ
	女子		2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m80	2m91	10cm ずつ

### 3. 競技運営について

- ① 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似品の危機を競技場内で所持または使用することはできない。
- ② 競技者は競技場所から勝手に離れることはできない。(競技規則第144条3(b)・4)
- ③ 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。
- ④ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

### 4. 番組編成について

- ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- ② 欠場等で予選が8名以下となった場合は、編成を組み直し、決勝のみとする。
- ③ レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。800mについては競技役員の指示に従うこと。
- ④ トラック競技の決勝の発表は、下記のQRコードからWEB速報を確認すること。正面出入口付近でも確認できる。
- ⑤ タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条)

### 5. 一般的注意事項

- ① 各校引率教員は大会当日の競技開始30分前までに学校受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。この時、当該日の出場選手の体調管理の報告をすること。
- ② 選手の変更は認めない。
- ③ ゴミの持ち帰りに務めること。また、近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。

- ④ 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・障害に対する応急処置は主催者で行うが、以降の責任は一切負わない。
- ⑤ 横断幕、応援用ののぼり等は使用しないこと。
- ⑥ 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。

◆**競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください**◆

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影禁止をさせていただくエリアは下記のエリアです。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

記録公開 Web サイト（予定）



反映までには時間がかかります。